



注意

作業を誤った場合に据付業者、又は本製品の使用者が傷害を負う可能性および製品等の物的損害の発生が想定される内容を示していますので、十分注意して行って下さい。

1



注意 工事される前の確認

- ・本製品の仕様(処理能力・外形寸法・電源・定格消費電力・処理物の種類等)について再度確認して下さい。
- ・本製品は、専用の電源ボックスが必要です。電源ボックスの設置および配線は専門の電気工事会社に依頼して下さい。

2

付属部品の確認

・下記付属部品が入っている事を確認して下さい。

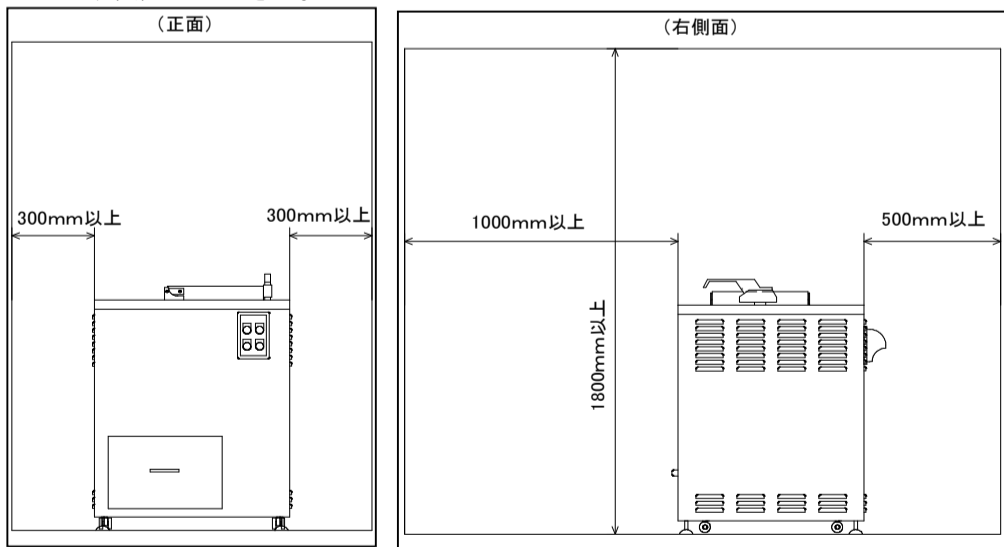
- | | | |
|---|--------------|-----|
| 1 | 据付説明書(本書) | 1部 |
| 2 | 取扱説明書(保証書付き) | 1部 |
| 3 | 操作盤カギ・上蓋カギ | 各2個 |
| 4 | サーマルリセット棒 | 1個 |
| 5 | ハケ | 1個 |
| 6 | ヘラ | 1個 |
| 7 | アース線 | 1本 |

3



注意 据付場所の確認

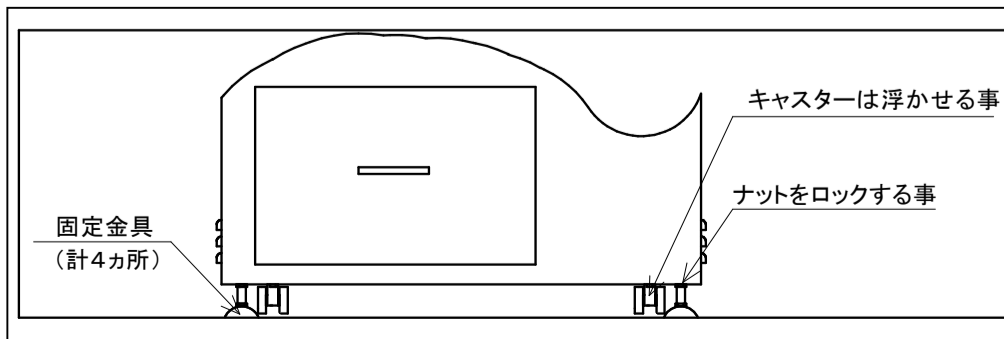
- ・人通りの多い場所、人の集まる場所への設置は避けて下さい。
- ・階段、非難口近くの設置は避けて下さい。
- ・引火性危険物(ガソリン、ベンジン、アルコール、接着剤等)を扱う場所には設置しないで下さい。
- ・運転中、本機械は高温になりますので、周囲に燃えやすいものがある所には設置しないで下さい。
- ・平坦な場所で、床が丈夫(コンクリート、アスファルト等)な場所に設置して下さい。
- ・軒下など雨のかかりにくい場所に設置して下さい。
- ・電源は専用の電源ボックス、専用回路をご使用下さい。
- ・室内に設置する場合は排気用の煙突を設置して下さい。夏季の室内温度上昇に注意して下さい。
- ・据付には下記の設置寸法を確保して下さい。
- ・下記寸法は必要最小限の寸法です。生ごみの投入方法、乾燥残渣の排出方法により決定して下さい。



4

据付工事

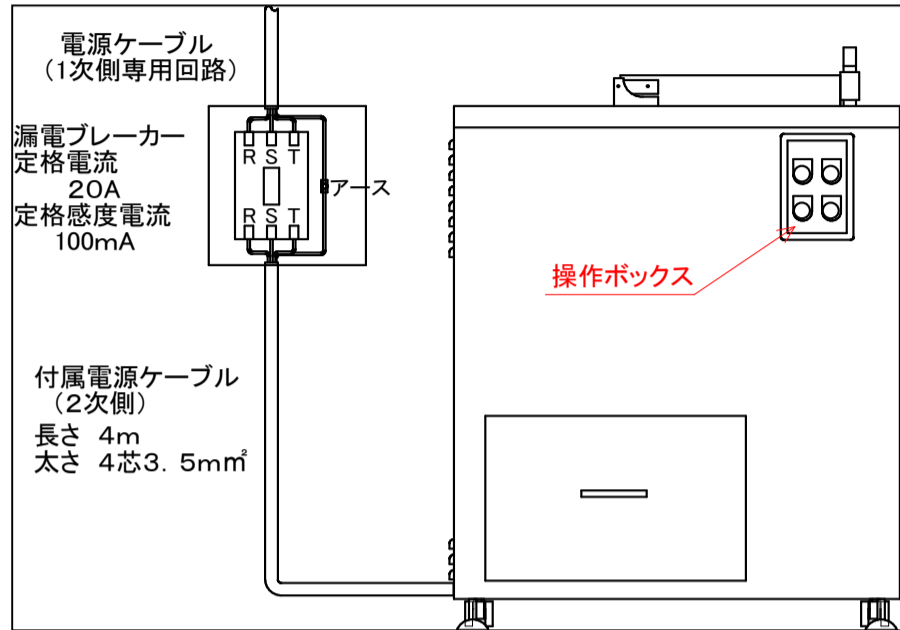
・本製品を据付場所まで移動し決まりましたら、水準器で水平を確認しながら本製品の各コーナー下の固定金具にて高さを調整し、ナットをロックして固定して下さい。



5

電気工事

◎2次側電源接続工事を行って下さい。



- ・電源はAC200V 3相 50/60Hzが必要です。
- ・定格消費電力
パーフェクト 20 3.4/3.5kw(50/60Hz)
パーフェクト 50 3.9/4.0kw(50/60Hz)
- ・電源を接続する場合は元の電源を切った状態で行って下さい。

◎本体アースは、第3種設置工事を行って下さい。

◎攪拌羽根回転方向の確認

・以上の作業が終了しましたら、元の電源を入れ、漏電ブレーカーを入にし、本製品操作ボックスの”電源スイッチ”を”入”にして下さい。

・上蓋を閉めた状態で操作ボックスの”排出スイッチ”を押して下さい。排出シャッターが開いた後(約5秒)攪拌モーターが回転します。

上蓋を開けると攪拌モーターが停止します。その瞬間回転方向を見て下さい。攪拌羽根が回転します。処理槽内部に物が無い事を確認して下さい。処理槽内部に指等を入れないで下さい。



注意

- ・回転方向を確認します。
パーフェクト 20 正面から見て時計回り(右回転)
パーフェクト 50 右側面から見て時計回り(右回転)

・逆回転の場合は1度元の電源を切り、漏電ブレーカーから出ている電源ケーブル(2次側)の”R”と”T”を入れ換えて、再度確認をして下さい。

◎室内設置については別紙”室内設置について”を参照して下さい。

6



注意 据付後の確認

・本装置据付後下記項目を必ずチェックして下さい。

点検項目	点検内容	参照項目	チェック
据付	据付場所は正しいですか?	3	
	設置寸法は確保されていますか?	3	
	水平に据付され、ガタツキはないですか?	4	
	固定金具はしっかり固定されていますか?	4	
電源	電源電圧は三相200Vですか?	5	
電気工事	電気工事は正しく行われていますか?	5	
	アース工事は正しく行われていますか?	5	

7

取扱説明

- ・取扱説明書に従って、本機械の取扱について説明して下さい。
- ・取扱説明書の中に保証書があります。必要事項を記入し、御客様へ保管の御願いをして下さい。

8

試運転(販売店の方が行って下さい)

・据付後は実際に生ごみを投入し、本装置が正常に動作する事を確認して下さい。